

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク演習 (専門) C		選択	2	4	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的とする。そして、精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築することを目指す。</p> <p><概要>各々が整理した実習中の事例をもとに、受講生同士のディスカッションやグループワーク等を通じて事例検討を行い、精神保健福祉士の専門性 (知識、技術、価値) の視点から考察を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	実習での事例を事前に整理しておくこと。授業内では積極的に発言し、意見を交わすことが求められる。				
教科書	教科書は指定しない。				
参考書	必要に応じてプリントを配布する。				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人や環境を含めてソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性 (知識、技術、価値) の基礎を理解し説明できる。			HC(1)~(3)、(5)	
②	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続き、活用について理解し説明できる。			HC(2)、(5)	
③	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種、本人を中心とした援助を展開するチーム連携について理解し説明できる。			HC(2)、(5)	
④	精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための政策や制度、関係行政や地域住民に働きかける方法をイメージし説明できる。			HC(1)~(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	授業の進め方、評価方法、学習方法について理解する。実習後指導の意義について理解する。	講義	実習で体験した場面や悩んだ場面についてまとめ作業を行う。	4	
2	実習の振り返り① (各自の実習体験を知識、技術、価値の視点から考察する。)	演習		4	
3	実習の振り返り② (印象的な事例・場面についてインシデントシートを作成する)	演習		4	
4	実習の振り返り③ (印象的な事例を共有し、相互検討する。)	グループワーク・ ディスカッション	相互検討で得た学びを整理する。	4	
5				4	
6				4	
7				4	
8				4	
9	4				
10	実習の振り返り④ (印象的な場面を共有し、相互検討する。)	グループワーク・ ディスカッション	相互検討で得た学びを整理する。	4	
11				4	
12				4	
13				4	
14				4	
15				4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

試			
---	--	--	--

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	0	0	0	100	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	0	0
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	15	15
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	15	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	15	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	15	15
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	20	20

評価のポイント			評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
評価方法	行動目標			
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
成果発表	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	演習への参加状況、取り組み状況および授業中に行う提出課題の達成度により評価する。	講義中にて総評を行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤			
	⑥			

備 考

他 担 当 教 員	なし
教員の実務経験	社会福祉士資格を有し、13年の実務経験がある。
実践的授業の内容	教員自身の対人援助職の実務経験にもとづき、対人援助職として必要な価値・知識・技術を教授する。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉士資格取得希望者は必ず履修すること。 ・ 止むを得ず遅刻・欠席する場合は、しかるべき手順を踏んで対応すること。 ・ 上記、指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。